

図書館の職員さんに聞いてみよう！

本のはなし

話題の**新刊本！**

「キレル」はこころのSOS
〜発達障害の二次障害の理解から〜

著：原田 謙
出版：星和書店

キレル子どもたちに向き合い続けてきた児童精神科医が、興奮状態の子どもへの介入方法から支援者の燃え尽きを防ぐセルフケアまで、具体的な支援方法を紹介。Q&A や SST プログラム、ペアレントトレーニングなど資料も充実。(大宇陀図書館所蔵)

へいわとせんそう
〜小学生が選んだ物語集〜

文：たにかわしゅんたろう
え：Noritake
出版：ブロンズ新社

「へいわのボク」と「せんそうのボク」では、なにが変わるのだろう。比べてみると、平和と戦争の違いが見えてくる。谷川俊太郎の言葉とNoritakeの絵による、これまでにない平和絵本。(大宇陀図書館所蔵)

図書館からの**まめ知識** Vol.68

そろそろコートの出番かなと思うほどに、秋が深まりを見せています。紅葉も色づき始め、秋の散策が楽しい季節ですね。赤や黄色に色づく葉っぱは美しく、一面に広がる紅葉の景色は私たちの心を豊かにしてくれます。

図書館では、あなたの手で色づく一葉を・・・『～あなたからあなたへ～ 本の種まき伝言板』特集を実施しています。

一枚の葉であなたのお奨めの本を教えてください。あなたの一葉が誰かの心に舞い落ちるかも？！どうぞ、伝言板を紅葉でいっぱいにしてくださいね。そして、知らないあなたから紹介してもらった本に触れると、きっと新しい本の世界が広がるでしょう。

おはなし会やその他のお知らせは P27

榛生昇陽高校見事優勝！ 9月18日

7月に沖縄県で行われた全国高等学校総合体育大会自転車競技大会において、見事優勝された榛生昇陽高校自転車競技部の選手が、市長・副市長へ報告のため来庁されました。

選手たちは、優勝できた喜びと大会時の様子、また1、2年生は「来年も優勝2連覇します」と意気込みを話してくれました。大会結果は次のとおりです。

- 【大会結果】(敬称略)
- ロードレースの部
- | | |
|------|---------------------|
| 総合優勝 | 高原令伍 (3年)・岩田聖矢 (2年) |
| | 山下虎ノ亮 (1年) |
| 個人2位 | 高原令伍 (3年) |



▲左から高原選手、岩田選手、山下選手

**大宇陀高校生が
ケネディ元駐日米国大使に手紙**

大宇陀高校の生徒会と選択授業「英語表現」の生徒9人が、キャロライン・ケネディ元駐日米国大使宛てに手紙を書きました。きっかけは同氏が33年前の新婚旅行の際、テキサス州出身の僧侶が勤めていた禅寺「松源院」(大宇陀迫間)に訪れたことから。そのことを知った生徒は、5年前に初めて手紙を送り、氏の退任後まで文通しました。

この度、同校が閉校することと、閉校後も先輩が作ってきたこの伝統や思いを残すために、日米友好の証として記念植樹したこと、今後の決意などを知らせるため手紙を書きました。

生徒会の堀内陸生さん(菟田野)は、「こんな機会はないので、何度も話し合い文章を考えた」、また翻訳・清書した甲斐田彩乃さん(榛原)は「時間をかけながら、いろんな方の協力のもと実現した。直筆したので緊張した」と話されました。手紙は10月1日に投函されたそうです。返事が楽しみです。



▲左から井村先生、甲斐田さん、堀内さん、堀田校長

**J Aならけんより捕獲檻を
寄贈いただきました** 9月19日

J Aならけんより、宇陀・名張地域鳥獣害防止広域対策協議会が捕獲檻1基の寄贈を受けました。

J Aならけんはイノシシの被害防止に役立ててもらうため、県内で25基の捕獲檻を寄贈する計画です。追払いや防護柵などの対策を行っても、しつこく進入しようとする個体は、最後の手段として捕獲をすることになります。宇陀市では近年400頭～600頭が捕獲されていますが、寄贈を受けた捕獲檻を運用することで、捕獲頭数の増加を見込んでいます。



**市戦没者並びに消防殉職者
追悼式を挙** 10月11日

総合体育館において「市戦没者並びに消防殉職者追悼式」がしめやかに挙行されました。式には遺族や関係者の方々が参列され、式辞の後、献花・献楽を行い、戦争や消防活動により尊い命を落とされた方々のご冥福をお祈りしました。

式典終了後の「遺家族の集い」では、室生地区 向渕やまびこコーラスの方々に、懐メロや童謡などを聴かせていただきました。



うマイ！宇陀米！の収穫を体験 9月23日

本紙5月号では、宇陀市のブランド米の取り組みを紹介しました。今回、その一環として、実際に宇陀米を使用している(株)ゼンショウ「板前焼肉 一笑」(大阪)が、グループ店のスタッフほか約120人の参加による収穫体験を行いました。その目的は、この程、同社がお客様から好評の宇陀米をネット販売するにあたり、店員が宇陀米の特徴や生産地を知ること、より商品としての宇陀米の魅力発信につなげることに。収穫を行ったのは、榛原高井地内にある生産農地。

同社代表の市出身の井阪和仁氏は「販売者として生産地を知るとは大事。実際に宇陀の米は好評です。少しでも故郷の農産物の販売促進につながれば。それにしてもスタッフの大半が稲刈りが初めてなのか、みんな喜んで、あちらこちらで記念撮影していますよ」と、思わぬ収穫ににっこりでした。



**事故のない安全な宇陀路を
目指しましょう！** 9月24日

全国的に死傷者を伴う交通事故が多発し、奈良県においても、9月11日に交通死亡事故多発警報が発令されました。

秋の交通安全週間には、桜井・宇陀・東吉野地区交通対策協議会と桜井警察署による「交通安全キャラバン隊」が、「一日警察署長」とともに、2市3村を啓発走行し、各市村役場において一日警察署長からの交通安全メッセージとして、「①横断歩行者に対する思いやり運動の徹底②交通事故防止に向けた安全行動の実践③飲酒運転の根絶」の伝達がありました。

